後　援：文部科学省・林野庁・長野県・長野県教育委員会

2022の信州

こども山賊キャンプ®

Sanzoku Camp　Yasuoka・Nagano

11/10(木)
申込開始！

https://www.greenwood.or.jp　インターネット割引実施中！

主　催：NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター

冬キャンプがやってくる！

最長老　だいち　より

最長老 だいち

全国のこども山賊の仲間たち！夏に続いて待ちに待った季節がやってきたぞ。信州やすおか村の冬はとっても寒い。でも、寒いからこそ楽しめることがいっぱいある。それを思いきり楽しむのが、冬の信州こども山賊キャンプだ！

冬の信州こども山賊キャンプは、信州やすおか村の大自然を舞台に、遊んで、働いて、楽しく暮らすキャンプだ。はじめてキャンプするお友だちから夏も参加したベテランのお友だちまで、思う存分楽しめる内容を山賊の長老たちが用意したぞ。

冬の信州こども山賊キャンプが大事にしていることがある。それは、「みんな違ってみんないい」ということだ。全国各地から、年齢も性別も性格も何もかもが違う仲間が集まる。新しく出会う顔。いつもと同じ顔。夏にやさしくしてくれた相談員。夏にはちょっとケンカしてしまったお友だち。集まった仲間同士の良いところを認め合って、力をあわせることができたらとっても素晴らしいキャンプになることは間違いない。「みんな違ってみんないい」という楽しさをたくさん感じよう！

さあ、おいでおいで、冬の信州やすおか村に。きっと今まで味わったことのない冬が、君を待っている。山賊の長老たちは、君のチャレンジを待っているぞ！

CONTENTS

山賊キャンプのおきて	・・・	2～ 3
山賊キャンプ基本メニュー	・・・	4～ 6
冬の山賊キャンプのあるコースの様子	・・・	7
各コースの紹介	・・・	8～10
山賊キャンプのスタッフ	・・・	11
山賊ももちゃんの山賊Q&A	・・・	12
主催者NPOグリーンウッドについて	・・・	13～14
募集要項、持ち物など	・・・	15～21

山賊キャンプのお

その六　あいさつをする

山賊の仲間づくりはあいさつから始まる。初めて出会った仲間に、勇気を出して声をかけよう。村の人に出会ったら、元気よくあいさつしよう。その瞬間、君は山賊になる。

その七　仲間はずれは許さない

山賊はケンカする。でもイジメは許さない。一人の喜びは人数倍にして、みんなで笑う。一人の悲しみは人数で割って、ともにわかちあう。山賊キャンプではそんな仲間を作りたい。

その八　山や川は大事な友達だ

やすおかの山や川、空や大地はとってもきれいだ。どうすればこの大事な自然を汚さないで楽しく暮らすことができるか？山賊はそんなことをみんなで考える。

右、こころにきざんだ者
信州やすおかの山賊
となることを許可する

二〇二二年　冬　最長老

大地

きて

とっても大事なことが
書いてあるんだよ。
もしわからない言葉があったらお父さん、
お母さんに意味を教えてもらってね。
おきてを守れることが
山賊キャンプへの参加の条件だよ！

山賊キャンプのおきて

その一　君たちこどもが主役だ
山賊は仲間たちと話し合って暮らす。知恵を絞って力をあわせた分だけ楽しくなる。

その二　思いやりの心をもつ
年上は年下を、力の強い子は力の弱い子をしっかり守り助けるのが山賊だ。一緒に暮らす仲間のことをいつも思いやるべし。

その三　食事は自分たちで作る
マキで火をおこす。仲間がたくさんいるから大丈夫。ちょっとくらいコゲたって、自分たちの力で作ったごはんはおいしいに決まっている。

その四　チャレンジが基本だ
山賊キャンプでは、いつもチャレンジの心を持つことが基本だ。難しいけれども、乗り越えたときに、君にとっての一生の想い出になるだろう。

その五　働かざるものクウベカラズ
遊びだけスゴクても、山賊とは言えない。食事の準備、火おこし、片づけ、寝床作り、そうじ…。暮らすための仕事はいっぱいだ。

落ち葉でそりすべり

冬の森にはふかふかの落ち葉がいっぱい！
その上をそりで滑ってみようよ！

落ち葉で焚き火

みんなで落ち葉を集めて、焚き火をしよう。
パンを焼いたり、焼きイモしたり…。
火を囲んでお茶を飲むのも素敵だね！

ネイチャークラフト・工作

里山には色んなものがあるよ。木のつる、竹、枝、わら…。何を使って何をつくるか。それは君しだいだよ。

野　宿

夏の山賊キャンプで大人気の野宿は冬にもやっぱり大人気！「寒さなんかに負けるもんか！」って勇気のある君は野宿に挑戦だ！
※野宿については参加者の健康状態、その他状況を考慮して主催者側で実施を見合わせる場合がありますのでご了承ください。

キャンプファイヤー

焚き火を囲んで、降ってきそうな星空を見上げながらおしゃべりしたり歌ったり。
山賊たちは冬の夜も盛り上がるよ！

雪があれば…？ 雪あそび！

もしかしたらの
おたのしみ
だよ☆

山賊キャンプ基本メニュー

山賊ももちゃんと一緒に山賊キャンプでどんなことをするのか見てみよう!
どのコースもこれらのメニューが基本になっているよ。

山賊ももちゃん

※コースや組、参加者の状況により活動内容は異なりますので、全部のメニューを行うということではありません。
※使用されている写真は、２０１９年以前の写真も含まれます。室内での活動の際は、現在はマスクを着用して行います。

山賊会議　～どのコースに参加するにも大切～

山賊キャンプのプログラムや暮らしのルールなどは、基本的に全員参加の「山賊会議」で決めていくよ。期間中にやりたいことなどの意見を出し合い、自分たちでプログラムを組み立てていくんだ。
また、楽しい場を作っていくために、暮らしの中で困っていること、悲しんでいること、変えたほうが良いことなどをみんなに伝え、全員で今起こっている問題を解決していくよ。

＊POINT＊
自分たちで山賊会議というコミュニティーを運営することによって、主体性の発揮を促し、コミュニケーション能力を育み、そして自分たちで決めたことを実行するという責任感を培っていくことを狙いとしています。

ごはんづくり

朝・夕の食事作りは山賊キャンプの大切な活動だよ。まきを使った火おこしもできるよ。みんなで作ったご飯はおいしいよ！

＊POINT＊
なぜ、わざわざ手のかかる食事作りをするのか？それは、手のかかるちょっとめんどうな暮らしの作業の中にこそ、こどもたちの主体性が発揮される場面があるからです。「待つ」から「関わる・動く」へ。食事作りを通して、主体性とチームワークを学びます。

※昼は、遊びの時間を確保するために行動食となります。

森の冒険・山のぼり・やすおか探検

朝ハイキングや山のぼり、森の冒険に出かけるよ。やすおか村には楽しい場所が盛りだくさん。
何がおこるか何に出会えるか！さぁ、みんなでやすおかの森へ探検に出かけよう！

Education talk

なんで「山賊」なの？

こどもが成長していくためには、安心して自分を出せる環境が不可欠。山賊というユニークなコンセプトは、キャンプを楽しい雰囲気にして、より開放感を与えてくれます。山賊仲間は大人もこどももキャンプネームで呼び合い、仲間とのかかわりに親近感を高めます。「安心と楽しさ」がキーワードです。

薪わり＆薪ストーブ＆五右衛門風呂

山から出した薪を自分たちで割る。割った薪でストーブをたいたり、お風呂をたいたりするんだよ。薪でたいたお風呂は温泉みたいに気持ちいぃ～！ストーブのまわりでおしゃべりしたり、歌ったり、自然とみんながあつまってくるよ。

もちつき・きなこづくり

冬の山賊キャンプの人気アクティビティ！もちつきはしたことあるかな？つきたてのおもちを食べたことはあるかな？きなこってどうやって作るのかな？
みんなで協力してついたおもちはとってもおいしいよ！

Education talk

どうして自然体験なの？

こどもは知識を、体験をもとに理解するといわれ、体験活動は学力を支える基礎となるといわれています。
しかし、いまこどもたちには、その理解の基礎となる直接体験の機会が不足しています。
山賊キャンプは直接体験の機会はもちろんのこと、その体験をふりかえり、仲間と共有し、次の日に生かすことを促進（ファシリテート）しています。このようにしてこどもの学びと成長を支えているのです。

お正月あそび

福笑い・かるたとり・はねつき・たこあげ・こままわし。昔ながらのお正月あそびをやろう！

冬の山賊キャンプのあるコースの様子

（※各組により活動の詳細などは異なります。）

pm6:00頃　宿泊する施設に到着

pm6:30頃
山賊カレーを食べます
（着いた日の夜ごはんは
スタッフが用意します）

山賊会議

pm9:00頃
施設の中で
寝袋を使って寝ます

am6:00頃
起床

朝づくり

落ち葉でそりすべり

もちつき

野菜の収穫

遊んだり、働いたり、
ごはんを作ったり！

ごはんづくり

みんなでいただきます!

天竜川まで探検

キャンプファイヤー

五右衛門風呂

最終日の朝
バスが東京に
向けて出発
するよ！

最後の夜は
族ごとでキャンプの
「ふりかえり」

冬空の下でも歌って踊って
盛り上がろう!

自分たちで
薪をくべて焚くよ!

仲間と年を越す

お年とりコース

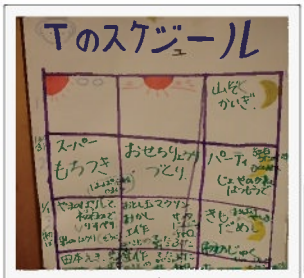
おおみそかには、伊那谷の伝統行事「お年とり」を味わい、みんなで手作りのお正月をむかえる準備をしよう。おもちをついたり、そばやうどんを打ったり、ごちそうをいっぱい作るんだ。夜はそのごちそうを食べて、お正月遊びで盛り上がろう！

※伊那谷では、１２月３１日から１月１日のことを「年こし」とは言わずに「年とり」と言います。その昔とっても貧しかったこの山村で、おおみそかの夜だけは「尾頭付きの魚」を食べて、家族全員で新しく年をひとつとったのです。その風習が今でも息づいており、このキャンプではその「お年とり」を体験します。

※お年とりコースは暮らしの学校だいだらぼっちの母屋に宿泊します。

お年とりコースの特別プログラム

（※活動内容は天候その他により変更となる場合もあります。）



みんなが考えた
お年とりプログラム

約３０人分のお年とり料理を作るんだよ！みんなで作ると楽しいね。

お年とり料理作り

お年とり料理作り

お餅をついて鏡餅づくり

年越し蕎麦うち＆うどんづくり

みんなで初日の出を
見に行きました。

みんなで書初め大会

みんなでお年とりパーティ
を計画して楽しもう！

わらでお正月飾りづくり

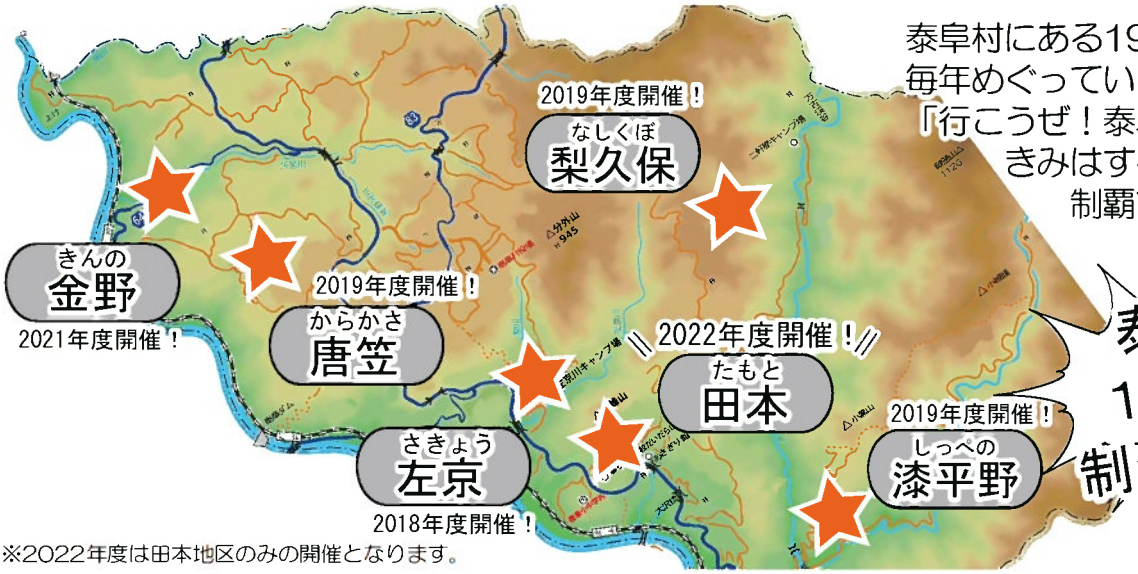
※このページの写真は2019年以前に撮影されたコロナ禍前の写真になります

行こうぜ！泰阜19コース

田本組

１年間の山賊キャンプ「だいだらぼっち」のあじとで、里山の暮らしを楽しもう！

行こうぜ！泰阜19コース ってどんなコース？



泰阜村にある19か所のアジトを毎年めぐっていくのが、「行こうぜ！泰阜19コース」！きみはすべてのアジトを制覇できるかな？！

泰阜村の１９地区を制覇しよう！

※2022年度は田本地区のみの開催となります。

長老が相談員

夏キャンプの長老たちが相談員！

長老キャンプコース

夏の山賊キャンプ長老陣が、みんなと生活を共にする相談員（キャンプリーダー）になるよ！一緒にご飯を食べ、一緒に眠り、一緒にあそび、一緒に働く。
どんなキャンプになるのか！それは来てからのお楽しみ！

※長老キャンプコースは暮らしの学校だいだらぼっちの母屋に宿泊します。

冬の山賊キャンプの魅力 紹介コーナー

家族みたいな仲間とのあったか～い暮らし!

冬キャンプは、こどもの数が約２０人と少人数のキャンプ。
だから、自分たちで考えた遊びを一緒に楽しんだり、毎食“同じ釜の飯”を食ったり五右衛門風呂であたたまったり…。組に参加している仲間全員の名前も覚えて、本当の家族みたいにあったか～い暮らしを味わえるよ！
そんな山賊仲間との暮らしは、きっとかけがえのない、忘れられない想い出になる！

地元農家のみなさんが育てた美味しい冬野菜!

キャンプの楽しみといえば、やっぱりごはん！
冬キャンプで使うおいしい大根や白菜、ほうれん草。どれもやすおか村の農家の方がキャンプに参加するみんなのために手間隙かけて育てた野菜なんだ！みんなのことを考えて農薬を減らしてつくった安心・安全、そしておいし～いお野菜！新鮮な食材を使ったお鍋なんて、もーう最高！！
やすおか村で食べるのを楽しみにしててね！！

やりたいことはこどもが決める!

山賊キャンプはやっぱり「こどもが主役！」
特に、冬キャンプはこどもの数が少ない分、夏よりも一人ひとりの意見がより大切になってくる！
キャンプでやりたいこと、叶えたい夢は何？冬だからこそできるチャレンジ！きっとあるよね！？それをやすおかに持っておいで！！
みんなで最高に楽しいキャンプをつくろう！

山賊キャンプスタッフ

NPOグリーンウッドは、自然体験教育活動の専門組織として、多数の常勤スタッフを擁しております。全スタッフが地域住民となり、暮らしに根づいた活動を展開しています。冬の山賊キャンプではスタッフを中心に指導者研修を終了したキャンプリーダーがキャンプを力強くサポートします。

辻　英之　52歳

だいち

「何もない村」の暮らしの文化に内在する教育力を信じぬき、こどものみならず青年や地域住民など、関わる人々すべてに学びがある質の高い体験活動の提供をめざす。最近は、大学講義や講演、出版など普及啓発に力を入れる。著書に「奇跡のむらの物語～1000人のこどもが限界集落を救う！」(農文協)

＊現在の役職・資格
・NPOグリーンウッド　代表理事
・泰阜村地域づくりアドバイザー総合戦略推進官
・信州大学教授/・立教大学・九州大学講師(非常勤)
・公益社団法人日本環境教育フォーラム　理事
・NPO法人こどもたちのアジア連合　副代表理事
・NPO法人自然体験活動推進協議会常任理事

齋藤　新　48歳

し　ん

大学を卒業後、出版業界へ。根元の教育に携わることが「世界平和」、「日本の未来創り」につながると考え、児童書の編集に携わる。その後実践できる活躍の場を探していた中で、グリーンウッドに出会う。
現在は事務局長として、キャンプ統括や、全事業のマネジメントを行う。

＊現在の役職・資格
・NPOグリーンウッド　専務理事
・NPOグリーンウッド　事務局長
・NPO法人こどもたちのアジア連合理事
・自然体験活動(CONE)トレーナー
・自然体験活動(CONE)リスクマネージャー
・認定ファンドレイザー

矢加部　優　32歳

バ　ズ

大学在学中、学生による自然の中での集団宿泊研修を企画・運営する。小学校教育を学ぶ中で自然体験に興味を持ち、ボランティアとして山賊キャンプに参加。グリーンウッドの教育観に共感し、参画。

＊現在の役職・資格
・NPOグリーンウッド
事務局長代理/企画推進チーム
・レスキュー3(スイフトウォーターレスキューテクニシャン・レベル1)

森　久哲　40歳

もーりぃ

北海道の自然の中で川を中心とした自然体験活動や暮らしの中の学びを探求する「教育内容方法学」を専攻。2年間の中学校家庭科教員を経たのち、学びの本質や 共に生きることに関心を持ち、グリーンウッドに参画。暮らしの中の"てづくり"を大切にしている。

＊現在の役職・資格
・NPOグリーンウッド　だいだらぼっちチーム
・レスキュー3(スイフト　ウォーターレスキューテクニシャン・レベル1)
・ウィルダネス ファーストエイド(野外・災害救急法)ベーシックレベル

堀切　大輔　30歳

だいちゃん

海外8カ国の孤児院や教育機関で、こどもと関わり「本当の幸せ、豊かさってなんだろう？」と考え、皆が違いを認め合い、素直に生きれる社会を志す。愛知県の島で、こどもキャンプの企画・運営をするのち、キャンプにボランティアとして参加していた、グリーンウッドの暮らしから学ぶという理念に共感し、参画。

＊現在の役職・資格
・NPOグリーンウッド　地域・幼児教育チーム
・レスキュー3(スイフト　ウォーターレスキューテクニシャン・レベル1)

米倉　未佳　26歳

お ら ふ

大学入学後、NPO法人の学生ボランティアリーダーとして自然体験活動に関わる。ボランティア活動を経て、自然体験活動が子どもを成長させることに気づく。在学中、「人としての基礎づくり」と「暮らし」と「自然」の繋がりに興味を持ち、山賊キャンプにボランティアとして参加。グリーンウッドの理念・人・環境に大きく心を惹かれ、グリーンウッドに参画。

＊現在の役職
・NPOグリーンウッド　だいだらぼっちチーム

緒方　公美　26歳

く　み

農学部で森林・林業について学ぶことや、鹿児島の田舎での地域振興に関わる活動を通して自分自身の自然体験を重ね、持続可能な社会の創出に貢献したいと考え始める。主体的な学びと認め合いの心を信じ、グリーンウッドで実践したいと思い参画。

＊現在の役職
・NPOグリーンウッド　企画推進チーム

森　奈央美　45歳

なおみち

大学で社会福祉、保育学を学ぶ。名古屋の保育園で保育士しとして5年勤務した後、「人が育つ環境づくり」の原点である「暮らし」をみつめたいと考えグリーンウッドに参画。やすおか村民としても家庭、社会づくりの肝を学ぶ日々。

＊現在の役職
・NPOグリーンウッド　総務チーム

清水　綾乃　27歳

ゆべし

高校までは都会と山村両方の中で育つ。大学では社会福祉を専攻し小さな社会大きな社会の特徴を踏まえながら学ぶ。地域を活かした活動に興味を持ち、山賊キャンプに参加。子供たちにとって大切な「生きる力」を育てるグリーンウッドに魅力を感じ参画。

＊現在の役職
・NPOグリーンウッド
地域・幼児教育チーム/企画推進チーム

寺井　朱里　24歳

なるこ

学生時代、だいちの授業を履修し、グリーンウッドを知る。自分の経験を持って、生きていく中にある面白さや豊かさを伝えていける人になるためには、地域や自然に根差した暮らしを丁寧に重ねる経験が必要だと思い、参加。

＊現在の役職
・NPOグリーンウッド　だいだらぼっちチーム

辻　典子　51歳

の　り

北海道の僻地での教員生活を経てグリーンウッドに参画。2男1女の母。こどもたちが夢をもって未来を語れるような社会になるよう、足元の教育や地域づくりを大事にしている。

＊現在の役職
・NPOグリーンウッド　総務チーム

村上　由紀　56歳

み　け

千葉で幼稚園教諭として4年間勤務した後、グリーンウッドに参画。人と人とのつながりを丁寧に楽しくもてるように日々の出会いを大切にしている。地域の活動にも積極的に参加し、地元やすおか村の人たちとのつながりを持つことにも力を入れている。

＊現在の役職・資格
・NPOグリーンウッド　地域・幼児教育チーム
・救急救命法国際(MFA)インストラクター

齋藤　晴子　44歳

ぱ　る

大学卒業後、国際開発に携わりたいと建設業界へ。海外赴任中、国際問題の解決には次世代を担うこどもの教育が必要と感じグリーンウッドへ転職。豊かな子育て環境を作り広めるべく、地域でのつながりを大切にまずは自身の子育てから実践中。3児の母。

＊現在の役職
・NPOグリーンウッド　総務チーム
・泰阜村教育委員

髙島　愛都　31歳

い　と

在学中、教職課程にて教育を学ぶ。また岩手県紫波町への間伐体験ツアーを企画、運営。タイで行われているワークショップに参加し、そこで地域教育の重要性を感じグリーンウッドに参画。1児の母。

＊現在の役職
・NPOグリーンウッド
総務チーム/企画推進チーム

梶　さち子　67歳

か　に

東京で幼稚園教諭として4年間勤務した後、やすおか村に移住して自然体験活動の道に入る。1986年から地域の暮らしから学ぶオールタナティブスクールとして「暮らしの学校」を設立。

＊現在の役職
・NPOグリーンウッド　会長

＜＜ NPOグリーンウッドスタッフ陣の資質について ＞＞

NPOグリーンウッドは、スタッフの資質として、「常に研鑽する」という姿勢を重視しています。日々の暮らし、活動の場面、こどもとの会話等、常に「学び」のアンテナを張るよう心がけています。また、自然体験活動を安全かつ効果的に実施するために、資格や免許取得も奨励しており、スタッフ陣は、教員免許、文部科学大臣認定キャンプディレクター・インストラクター、自然体験活動推進協議会(CONE)資格、急流水難救助資格(レスキュー3)救急救命国際資格(Medic First Aid ®)などの各種資格・免許を取得しております。

＜＜ NPOグリーンウッドスタッフの講演活動 ＞＞

全国各地で講演会・研修会・セミナー等に呼ばれています。グリーンウッドの教育理念に共感が集まっています。(以下実績)

「山村教育のチカラ　～未来をつくる、小さな村の教育力～」(長崎：長崎県小値賀島)
「で、どうなるん？　～長期山村留学に参加した子は今～」(京都：京都環境教育ミーティング実行委員会)
「よみがえれ！元学校林　～里山の利用に関するNPOグリーンウッドの取り組み～」(奈良：林野庁奈良森林管理事務所)
「地域の教育のソコヂカラ　～地域の小さな教育力が、地域の大きな未来を作る～」(福岡：福岡県添田町)
「次につなげる　～協同者・後継者のつくりかた～」(長野：長野県塩尻市・NPO地域活動応援応援チームえんのわ)
「限界集落から始める教育改革　～教育をど真ん中においた地域再生が日本を変える～」(石川：NPO法人角間里山未来・金沢大学)
「初めてのキャンプ　～キャンプで子どもの自主性・生きる力を育てる～」(東京：板橋区立紅梅小学校PTA)
「子どもらしい顔を取り戻せ！　～小さな村の教育力に学ぶ～」(長野：長野県青少年補導活動推進大会)

山賊ももちゃんの山賊Q&A

Q 冬の信州（泰阜村）って寒くないの？

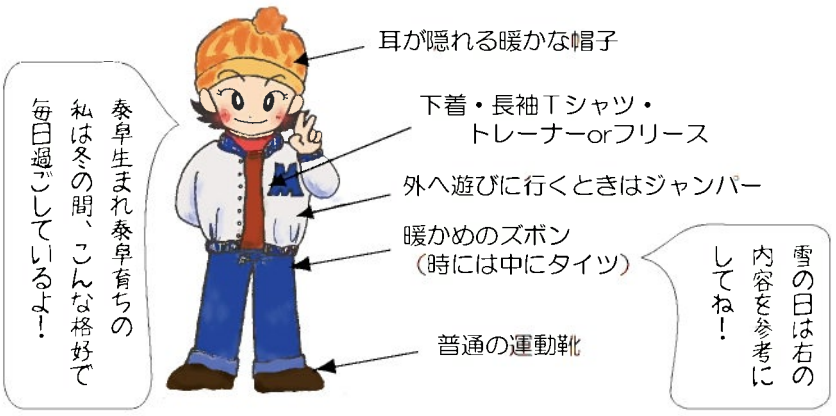
A 泰阜村は長野県の南部に位置しているから、太平洋気候に属しているよ。だから昼間は信州の中では比較的暖かくなるんだよ。でもね、夜は氷点下に冷え込むから暖かい格好が必要だよ！
手袋や帽子は必須のアイテム！雪は常に積もっているわけじゃないけど、降り出すとひと晩で１０～３０ｃｍ積もるときもあるんだよ。くつ下も忘れないでね！

Q 冬の山賊キャンプの拠点はどこ？

A 基本的にはどのコースも建物を拠点にしながら色々な活動を行うよ。建物の中は薪ストーブがあったりするからそんなに寒くないよ。でも、活動の多くは外でも行うから暖かい服も持って来てね。

Q 冬の信州にみんなはどんな格好で来るの？

A



スキーウェアーやカッパが役立つよ！どちらにしても必ず下のズボンがあるほうが良いよ！そして、雪の日は長靴があると快適に遊べるよ。

Q 寝袋（シュラフ）はどんなものが必要？

A 基本的には建物の中で宿泊するから、夏に使ったシュラフでかまわないよ！寒い時には毛布を用意してあるからね。もし冬用の暖かいシュラフがあれば冬用のシュラフを持ってきてね！

Q グループって決まってるの？

A 年齢縦割りで、あらかじめ主催者側で決めてあるよ。1グループ10人前後男女混合グループでＮＰＯグリーンウッドの指導者研修を受けたボランティアスタッフが2名ほどつくよ。※グループにつきましては主催者側で構成を決めますので、原則ご希望には添えかねます。あらかじめご了承ください。

Q 夏はＨＰでキャンプの様子が見られたけど冬は見られないの?

A もちろん冬もキャンプの様子が見られるよ！キャンプから帰ったら見てみてね！

Q 遊びの計画はどんな風に立てるの？

A こどもとスタッフが全員参加する「山賊会議」で3泊４日、４泊５日の予定をみんなが来てから決めるんだよ。お年とりコースみたいにやることが一部決まっていることもあるよ。

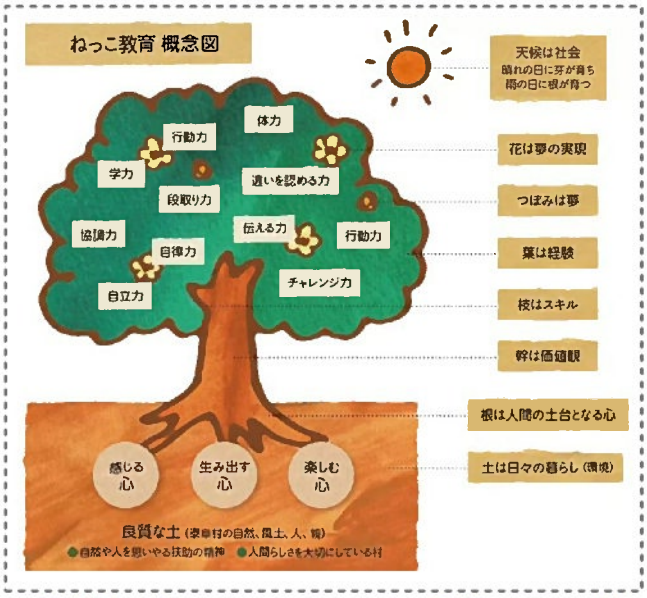
Q 冬に泊まる“暮らしの学校だいだらぼっち”ってどんなところ?

A 山賊キャンプを体験した、たくさんのお友だちが『今度は1年間のキャンプがしたい！』と言って、１年間泰阜村の村民になって一から暮らしを作り上げていってるところだよ！
泰阜村の学校に通いながら、毎日、『連絡』といって山賊会議のような話し合いが行われて、やりたいことやらなくてはいけないことをみんなで決めて生活しているんだよ。
詳しくは　https://www.greenwood.or.jp/daidara/index.htmlで日々の様子が見られるから、見てみてね。

暮らしから学ぶ『ねっこ教育』

■ 人間の土台を作る「ねっこ教育」とは

木は枝葉や果実ばかりを育てるとその重さで折れてしまいます。それを支える幹であったり、根っこが丈夫でなければなりません。人も同じではないでしょうか？スキルや学力、知識（習い事や塾）が枝葉であるとすると、正しく使える心がなければ間違いを犯したり、心が耐えられなくなり倒れてしまします。ひとのねっこは「暮らし」という必然の経験で育ちます。ねっこを育てれば、自ら育ち、生きていくための価値観を得ていきます。年代に応じた体験を提供し、暮らしの中で根っこを育てること。それがグリーンウッドの考えるねっこ教育です。



泰阜村の豊かな自然や生活文化を体験することで、人間力の土台となる3つの心を育みます。心を土台に、生きていくために必要なスキルの部分が身に付いていきます。

感じる心

人や自然から様々なものを感じ取る力。それが感性です。感性を育てることは、愛情を育て他者や物に対しても優しさや慈しむ心を持つ土台となります。グリーンウッドが提供する事業で大切にしていることは、山から薪をもらい、田畑を耕し、土を練って焼き物を作るといった自然とつながる暮らしです。

そんな中で自然に生かされている自分を感じていきます。また一人では生きていけない自然の暮らしは、ぶつかり合いや助け合いから、思いやりを育て、自分と違う価値観を知り、他者や社会とかかわりながら生きるための大切な心を育てます。

楽しむ心

どんなことも楽しむ心は前向きな力を育てます。事業では毎日の食事作りやお風呂焚きなど手間のかかる暮らしや、様々なプログラムを体験し、大変なこともあります。そんな時、「どうやったら楽しくできるか？」を問いかけます。苦しさを楽しさに変えていく中で、苦労を乗り越えることが本当の楽しみだと気付くのです。

時に失敗することもあります。しかし失敗は成功するための過程であり、失敗があるからこそ、成功することが真の喜びであり、楽しみとなるのです。トライ＆エラーを繰り返し、失敗への耐性を身につけ、乗り越える楽しさを知ること。失敗は未来の大きな壁を乗り越えるための原動力なりうるのです。

生み出す心

ゲームやインターネットなど楽しみを与えられることが増えた現代社会。時に人生の節目となる学校や就職すら周囲の多大なサポートなしでは達成できないこともあります。自分の人生を自分が主人公となり歩むためには、自ら創り出す力が必要です。

グリーンウッドのどの事業も参加者が主体的に決めることを大切にしています。主体者として関わることは、「やりたい」という前向きなパワーを生み出します。また、自ら生み出したものには「責任」も伴います。責任があるからこその「自由」の楽しみを知っていくことが、次のチャレンジに繋がります。

「ねっこ」を育てるための暮らしの５箇条(山賊キャンプ版)

つくる
キャンプのプログラム
工作

働く
ご飯作り・片付け
朝づくり(掃除)

話し合う

遊ぶ
森遊び・キャンプファイヤー
きもだめし・ナイトハイクetc.

関わる
男女混合異年齢縦割りの族
（グループ）

日々の暮らしの中で、話し合うことを基盤として、つくること、働くこと、遊ぶこと、関わることを取り入れます。この要素は山賊キャンプの軸にもなっています。

～しっかり育ったねっこの分だけ人は大きく強く育つ～

こどもの時だからこそ大切な経験があります。グリーンウッドでは「ねっこ」を育てるために山賊キャンプや森のようちえんなどの短期体験教育、暮らしの学校だいだらぼっちのような長期体験教育、家庭教育のためのノウハウ講演事業などを実施しております。

私たちグリーンウッドは、こどもたちの未来のために、そしてより良い社会を創るために、人が生きるために必要な部分を育てたいと考え、ねっこ教育を推進していきます。

「ねっこ教育」の総本山

山村留学・暮らしの学校『だいだらぼっち』

暮らしの中の学びを丁寧に抽出し、総合学習プログラムとして構成したものが暮らしの学校「だいだらぼっち」です。NPOグリーンウッドの根幹事業であり、理念を最も体現する事業でもあります。

１年間、地元の小中学校に通学しながら自然体験や生活体験を楽しみます。全国から集まる20人程度のこどもたちは、大きな山小屋のひとつ屋根の下で、スタッフと共に大家族の一員となって自分たちの力で暮らしを作り上げます。日本最長の長期自然体験教育プログラムとして注目を集めています。

36年間のねっこ教育の成果

（一年間のキャンプ・暮らしの学校
だいだらぼっち参加者延べ約５９０名）

海外留学率、全国平均より2倍以上！
塾に行かなくても、成績上がった！やりたいことに集中し、部活で活躍！
※参加者の進学先や就職情報は暮らしの学校だいだらぼっちホームページでご覧になれます。

https://www.greenwood.or.jp/daidara/index.htm

暮らしの学校だいだらぼっち　検索

主催者概要

NPOグリーンウッドのポリシー（理念）

私たちが目指す世界～VISION

あんじゃねぇな社会の実現　～誰もが安心して暮らせる社会～

震災や地球規模の気候変動、経済不安や政治不信、イジメやストレス社会…現代は未来に希望を持ちにくい時代と言われています。かつて高度経済成長期は、暮らしが便利になることが豊かさの基準、そして幸せの基準でした。しかし時が過ぎ、便利になりすぎた社会では、社会に関わる一人ひとりの役割が失われ、結果を残せない人は社会から切り捨てられてしまっています。

人と人との関わりが薄くなり自分が大切にされない社会では、当然、他者を大切にできなくなります。それが結果として「クレーム社会」や「自分さえよければ」という自己中心的な風潮を生んでいるのではないのでしょうか。

誰がこの時代を創っているのでしょうか？それはだれでもない現代を生きるわたしたちです。

「あんじゃねぇ」とは「案じるな、大丈夫だ」という下伊那地方の方言です。私たちの根付く泰阜村は、知恵を出し合い、 支え合うことで生き抜いてきました。人としての在り方に立ち戻り、本来あるべき豊かな社会を創るため、私たちは信州泰阜村の人々が営んできた暮らしの文化から学び、その地に「暮らす」ことを通して、誰もが安心して暮らせる社会を実現したいと考えています。

そのためにこんな人を育てたい！～MISSION

ひとねる　～自律のヒトヅクリ～

一人ひとりはできること、考え方も違います。自分に弱みがある一方、他人にはない強みがあることもあります。社会がもしひとつの価値基準の中で、同じような人間ばかり育てたならどうなるでしょうか？偏った考え方では社会で補い合うことはできません。

また一人ではできないことも支え合あえば乗り越えられることもあります。他者を活かすことは、自分を活かすことにもつながります。違いを認められないことで起こる対立を、プラスに変えられればどれだけ豊かになるでしょう。

そのためには互いを認める心と、時代や周囲の評価、価値観に流されない自分の考えを持ち、自分の知恵と力で生き抜く豊かでたくましい心を持つ人材が求められています。そしてなによりも自分自身の行動、言動に最後まで責任を持てるということが大切なのです。

「ひとねる」とは「ひととなる」の方言です。つまり「一人前の自律した人に育つ」という意味です。

「あんじゃねぇ」な社会を目指すために、私たちは自律の人を育てます。

泰阜だけの教育理論～ACTION

「地域に根差し、暮らしから学ぶ」活動理念から見出した　**暮らしから学ぶねっこ教育**

泰阜村の地域住民の支え合い（結い）、自然や地域の文化と共生した暮らしは、みんなが主役の社会を実現していました。そこでスタッフは３６年前から地域に根差し、現代社会が失った宝を泰阜村から学んできました。こどもたちの生きる土台を創る教育の原点がここにあったのです。私たちは泰阜村の考え方をプログラム化し実践してきました。それが暮らしから学ぶねっこ教育です。泰阜村のような大自然の中で支え合う風土は良質な土壌（社会）だと言えます。その土壌だからこそのびのびと根っこを伸ばすことができます。ねっこを伸ばし、それぞれの自分らしさを持った花を咲かせる。ねっこが伸びるほど土壌（社会）を支える存在になる。みんなが主役の社会を目指すため、ねっこ教育を推進していきます。

27の受賞歴

評価されたグリーンウッドの教育方式

■2021年　ディスカバー農山漁村の宝
■2020年　第15回マニフェスト大賞「優秀政策提言賞」
■2020年　第８回環境省グッドライフアワード環境大臣優秀賞
■2018年　オーライ！ニッポン　大賞
■2017年　地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰
■2017年　第５回 信州協働大賞 大賞受賞
■2012年　地域づくり総務大臣表彰　　等々

数々の賞を受賞したグリーンウッド。
どれもグリーンウッド独自の教育的視点について評価されております。

850超のマスコミ実績

評価されたグリーンウッドの教育方式

■ＮＨＫ総合『にっぽん紀行』
■日経ＫＩＤＳプラス　■ＡＥＲＡ with Ｋｉｄｓ
■Benesse進研ゼミ小学講座　チャレンジ通信
■『ソトコト』　ユニークな学校ガイド

ほか多数の新聞・雑誌にて主催事業「暮らしの学校だいだらぼっち」及び「信州こども山賊キャンプ」が取り上げられております。

募　集　要　項

1．　名　　称

２０２２　冬の信州こども山賊キャンプ®

2．　目　　的

信州の地域・暮らしに根ざした自然体験活動を通じて人間の土台となる「生み出す心」「感じる心」「楽しむ心」を学び、自分で人生を切り拓く力と社会をつくる力を育む。

3．　参加資格

小学校１年生～中学３年生で、自分で参加の決意をし、やる気のあるもの。

「１６．新型コロナウイルス感染予防対策について」「１７．新型コロナウイルス感染予防対策に関して参加される皆様へのお願い」及び別紙「NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター主催事業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」をご確認いただき、ご理解いただいた方

※キャンプ期間中、お子様に風邪の症状（発熱、咳、倦怠感などの症状）および味覚・嗅覚に障害が生じた場合、現地にてお引き取りをしていただきます。なお、現地でのお引き取りが困難な方はお申込をお受けできません。

4．　主催・体制

主　催：ＮＰＯ法人グリーンウッド自然体験教育センター

後　援：文部科学省・林野庁・長野県・長野県教育委員会・泰阜村・泰阜村教育委員会

5．　場所・連絡先

場　　所：長野県下伊那郡泰阜村ＮＰＯグリーンウッド施設ほか

緊急連絡先：ＮＰＯ法人グリーンウッド自然体験教育センター　山賊キャンプ係

ＴＥＬ：０２６０－２５－２８６１

※キャンプに関するお問い合わせは、すべて主催者にお問い合わせください。

※キャンプ開催日までの電話受付時間は午前１０時～午後７時（土・日・祝日除）までとなっております。ただし11月１２日（土）、１３（日）につきましては電話の回線を開けておりますので、FAXでお申し込みの方は到着確認をお願いします。

※キャンプ中の電話は原則としてお断りしていますが、緊急時のみ上記の電話番号で受け付けます。

6．　募集期間

第一次受付期間　２０２２年１１月１０日（木）午前１０時～１１月１２日（土）午後７時

※第一次受付期間以降、定員に達しない組に関しては１１月３０日（水）まで受付

7．　期間・日程・参加費

●３コースを実施します。下記日程をご参考の上、内容、日程にあわせて希望の組をお決めください。

●また、組を連続して参加することも可能です。

●参加費は下記のとおりです。**交通費については９．交通について**をご覧ください。

※いずれのコースにおいても、期間中の途中参加はできませんのであらかじめご承知おきください。

※この参加費には交通費は含まれておりません。

※キャンプ中に発生したご本人のけが・病気による経費は保護者負担となります。

内　訳

●食料費　●人件費　●保険料
●通信費　●研究費　●消費税
●材料消耗品　●施設使用消耗費
●器具使用消耗費
●キャンプカウンセリング費
●キャンプ運営に必要なその他経費

～　２０２２冬の信州こども山賊キャンプ期間・日程　～

■行こうぜ！泰阜（やすおか）19コース田本組（たもと）	12月26日～	12月30日	4泊5日	20人	49，500円
■お年とりコース	12月30日～	1月　3日	4泊5日	20人	49，500円
■長老キャンプコース	1月　3日～	1月　6日	3泊4日	20人	37，000円

8．　集合・解散について

1．バスの運行について

●本キャンプにつきましては、名古屋バスの運行はございません。東京・長野のバスのみ運行されます。

	集合	解散	所要時間	集合解散場所
新宿（東京）	12：30	12：00	5時間	東京都新宿区西新宿　東京都庁大型車両専用駐車場
諏訪（長野）	15：30	9：00	2時間	諏訪IC近辺「おぎのや」
駒ケ岳（長野）	16：20	8：00	1時間半	駒ヶ岳ＳＡ
飯田（長野）	17：00	7：30	1時間	飯田伊賀良バス乗り場
現地	17：00	9：00		ＮＰＯグリーンウッド（山賊キャンプ）事務所前

※諏訪、駒ケ岳・飯田は東京方面バスへの途中乗降となりますので、集合解散場所にスタッフはおりません。

※東京方面の方は、集合時に昼食・トイレを済ませてお越しください。

※車で送迎される場合はスタッドレスタイヤ等冬の装備が必要となりますので、予めご承知おきください。

2．集合・解散について

●集合前、解散後のお子様の行動は保護者の方の責任となります。

●なお、集合場所で集合時間に集合受付を完了した時を「集合」とみなし、解散場所で解散時間に解散受付を完了した時を「解散」とみなしますのでその旨ご承知おきください。なお、集合から解散までは団体行動となります。
●バスの運行につきましては道路交通事情により集合解散予定時間を大きく前後する場合もございます。あらかじめご承知おきください。
●集合解散などの詳細・バスの金額につきましては１２月５日頃発送の「最終お知らせ」にてご連絡致します。

９．　交通について

１．交通の委託について

●東京・長野からのバスを利用される場合、交通につきましては参加者の皆様と「旅ねっと飯田（有）」との契約となります。
●東京・長野からの往復は、「旅ねっと飯田（有）」がバス会社（信南交通（株））に委託した貸切りバスが運行されます。ただし、参加者数により路線バスなど公共交通機関を使用する場合がありますのであらかじめご承知おきください。
●「旅ねっと飯田（有）」及びバス会社の過失に基づく交通事故に関しては、当団体は責任を負いかねます。あらかじめご承知おきください。
●参加者数が確定しましたら、東京発・長野発別に人頭割した交通費をお知らせします。お知らせの発送日は１２月５日頃を予定しております。

２．交通のキャンセル・変更について

交通費のキャンセルについては、10.参加組・交通のキャンセルと変更についてをご確認ください。

≪予想往復料金≫　●東京・長野県内発着全て、片道利用は下記金額の半額となります。
■ 東京往復…９，８００円前後
■ 長野往復…７，７００円前後（ 飯田より３，８５０円前後 ）
＊バスの金額につきましては、各方面の参加者数により変更される場合がございます。
＊昨今の原価の高騰によりバス代が値上がりしております、ご理解の程お願い致します。

１０．参加組・交通のキャンセルと変更について

２０２２山賊キャンプ　キャンセル料の特別措置について

本来、下記の通りキャンセル料を設定しておりますが、今年度に関しましては、参加者の意思に関係なく中止することも考えられるため、手数料以外のキャンセル料はいただかないことにいたしました。中止あるいは体調不良などでキャンプの参加を取りやめた場合は、
参加費から手数料の１，０００円、交通費から５００円を差し引いた全額を返金致します。

１．参加組のキャンセルについて

申込書提出後キャンセルが発生した場合、その旨を必ずご連絡ください。
キャンセル料については、出発日を基準としてキャンセル料金を申し受けます。
出発日の１４日前から８日前は5,000円、７日前から出発前々日までは8,000円、出発前日は参加費の半額、出発当日以降のキャンセルは全額申し受けます。なお、返金手数料として一律1,000円（振込み手数料＋諸経費）を申し受けます。なお、キャンセルはFAX・E-mail・郵送のいずれかの方法で早めに主催者までご連絡ください。（電話不可）主催者に書類などが到着した時点でキャンセルの受理といたします。
参加費を納入しないことはキャンセルの意思表示にはなりませんので、ご注意ください。
なお、キャンセル料の返金につきましてはキャンプ終了後（１月６日以降）になります。

＜＜＜　　キャンセル料　　＞＞＞

１４日前から８日前	７日前から出発前々日	出発前日	出発当日以降
5,000円	8,000円	半額	全額

２．参加組の移動について

お申し込み後に組移動を希望される場合は、キャンセルと同様に書面にてお申し込みいただきます。FAX・E-mail・郵送のいずれかの方法で早めに主催者までご連絡ください。（電話不可）
主催者に書類などが到着した時点で組移動の受理といたします。ただし、定員の問題上ご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。結果はできるだけすみやかに主催者より通知いたします。組移動によって参加費に返金差額が発生する場合は、返金手数料として一律1,000円（振り込み手数料＋諸経費）を申し受けます。なお、差額の返金につきましてはキャンプ終了後（１月６日以降）になりますのであらかじめご承知おきください。

３．交通のキャンセル及び変更について

交通費のキャンセルについては、キャンプ主催者の管轄ではなく、「旅ねっと飯田（有）」の管轄となります。キャンセル日に応じ、「旅ねっと飯田（有）」に対し、所定のキャンセル料金を納めていただきます。１２月１０日以降のキャンセルについては全額をご負担いただきます。【旅ねっと飯田（有）より】
※キャンセル・変更など交通の一切の連絡については山賊キャンプ事務局までお願いいたします。

１１．　申し込みから参加までの流れ

募集期間　11/10（木）午前10時～11/30（水）

第１次受付期間　11/10（木）午前10時～11／12（土）午後7時　**抽選**にて参加組決定。

※第１次受付期間以降、定員に達しない組につきましては11/30（水）まで　**先着順**にて受け付けます。

1.お申し込み

お申し込みの方法は３通りあります。必ず以下ご確認の上、お申し込みください。

＊記入漏れがありますと受付できない場合もございます。特にFAXでお申し込みの際は、ボールペンなどではっきりとお書きください。

＊健康状態、アレルギー、過去の参加態度等に鑑み、参加を拒否ないしお断りする場合もありますので、あらかじめご承知おきください。

インターネット

https://www.greenwood.or.jp

インターネットからのお申し込み
500円の
割引特典あり

※申し込みデータが届き次第、お申し込みの際に記入されましたメールアドレス宛てに、グリーンウッドから受け取り確認のメールが送信されますので必ずご確認ください。
万が一届かない場合は、お手数ですが主催者までご連絡ください。なお受け取り確認のメールは参加承諾のメールではございませんのでご注意ください。

郵　送

〒399-1801　長野県下伊那郡泰阜村6342-2
ＮＰＯグリーンウッド「山賊キャンプ」係

※土・日・祝日の郵便配送はございませんのでご注意ください。

ＦＡＸ

０２６０－２５－２８５０

※電話にて受信の有無をお問い合わせいただければ確実です。（土・日・祝日は電話回線は開いておりません。平日の受付時間内にお問い合わせください。）
ただし、１１月１２日(土)、１３日(日)につきましては電話の回線を開けておりますのでＦＡＸでお申し込みの方は到着確認をお願いします。

2.お申込み〆切

第１次受付期間：１１／１２(土)午後７時まで。

第１次受付期間以降：定員に達しない組につきましては１１／３０(水)まで。

＊ただし、定員になり次第締め切らせていただきます。定員に達しない組につきましては２次募集をする場合があります。

3.参加承諾書

参加組決定後、約１週間で参加承諾書が郵送にて届きます。

＊１１月１０日午前１０時から１１月１２日午後７時までに受付されたお申込書につきましては、抽選にて参加組が決定した後、約１週間で参加承諾書が郵送にて届きます。

＊承諾書をもって**参加の内定**とさせていただきますので、必ず参加コース及び参加組をご確認ください。

＊１週間を過ぎても参加承諾書が届かない場合は山賊キャンプ事務局までご連絡ください。

4.参加費入金

参加承諾書に同封いたします振込用紙にて、１週間以内に参加費をご入金ください。

＊参加費の入金をもって**参加決定**とさせていただきます。また、ご入金前であってもキャンセルの際は必ず書面にて山賊キャンプ事務局までご連絡ください。**（内定を取り消される場合も必ず主催者までご連絡ください。）**

＊領収書などの発行はいたしませんので、必ず**振り込みの控えをお手元に保管**してください。

5.最終お知らせ

１２月５日頃、交通費の確定などを記した最終の事務連絡通知をお届けします。
到着後、速やかに開封し、中身をご確認ください。

＊「１週間の健康チェックシート」や「事前連絡票」などをこのお知らせに同封いたします。

＊最終お知らせが届かない場合は山賊キャンプ事務局までご連絡ください。

6.「1週間の健康チェックシート」記入

参加の１週間前より「１週間の健康チェックシート」へ朝晩の体温を記入し、自分の体調を確認してください。

7.事前連絡票

持病、アレルギー、お薬情報、おねしょなど主催者側への事前伝達事項のある方は最終お知らせに同封の「事前連絡票」を各組開催の３日前までに事務局へお送りください。また、食物アレルギーのある方は１０日前までにお送りください。

8.抗原検査の実施 結果の提出	**新型コロナウイルスの抗原検査キット（厚労省承認済）を各自でご用意いただき、キャンプ当日朝、検査を行ってください。** ＊結果が陽性の方はご参加いただけません。詳細は「１７．新型コロナウイルス感染予防対策に関して参加される皆様へのお願い」をご参照ください。 ＊検査結果の提出方法の詳細については、最終お知らせ書類にてお伝えいたします。
9.キャンプ参加	**集合解散場所・日時（参加組）を再度お確かめの上、お出かけください。** ＊当日は「１週間の健康チェックシート」・「保険証のコピー」・「抗原検査キットの陰性結果」をご提出いただきます。 ＊当日体調によりご参加が難しいとご判断された場合は速やかに事務局までご連絡ください。（「１０．参加組・交通のキャンセルと変更について」に従って、キャンセル返金のお手続きを行います。） ＊伝染性疾患（新型コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルスなど）の疑いがある方は参加をお控えください。 ＊【キャンプ活動中にお子様が発熱された場合】 キャンプ期間中、お子様に風邪の症状（発熱、咳、倦怠感などの症状）および味覚・嗅覚に障害が生じた場合、現地にてお引き取りをしていただきます。 なお、現地でのお引き取りが困難な方はお申込をお受けできません。

１２．　主催者側がキャンプを中止と判断した場合について

天災（地震・台風・大雪など）やその他の理由（新型コロナウイルス・インフルエンザ・キャンプ開催地に深刻な被害のある場合など）により主催者側で安全にキャンプが実施できないと判断した場合、FAX・E-mail・お電話など申込書に記載していただきました連絡先に直接ご連絡いたします。なお、交通災害（道路遮断）等により日程に支障を来たし予定通りキャンプを実現できないと判断して中止する場合も含みます。また、主催者側がキャンプを中止と判断した場合、納入いただいた参加費より、返金手数料として一律1,000円を除いた額を返金いたします。（なおキャンプ開始後の天災などの不可抗力な原因による活動期日の短縮の場合は返金できませんのであらかじめご承知おきください。）
同様に交通費につきましては交通を委託しております「旅ねっと飯田（有）」より、返金手数料として一律５００円を除いた額を返金いたします。
※「１６．新型コロナウイルス感染予防対策について」の「２）開催中止の判断について」もご確認ください。

１３．　安全管理

各種活動フィールド、施設、移動手段等は、基本的に安全確認済みのものです。
また、村立の診療所の他、車で10分の場所に県立阿南病院（２４時間受付）があります。当センターでは活動中の事故などに備えて、救急救命救護法の国際インストラクター資格を取得した主催スタッフを現地に配置しております。
しかしながら、山賊キャンプは野外で行うものが多く、それらには危険がつきものです。活動フィールドの下見と対策、リーダー研修の実施、参加者への安全教育など、危険を最小限にするための安全対策を講じておりますが、設備、備品、活動において危険や事故がないということを保証することはできないということをあらかじめご承知おきください。また、万が一に備えて主催者側で下記のとおり一定の傷害保険に加入します。（疾病は適用されません。）
有事の際は、主催者側の過失の有無にかかわらず、その保険によって補償あるいはお見舞いいたします。
※キャンプ期間中の通院につきましては、保護者の方のご負担となりますので、ご承知おきください。

国内旅行傷害保険　契約保険会社・東京海上日動火災保険株式会社
最高限度支給額：1,６００万円　入院：１日3,０００円　通院：１日1,０００円（免責あり）
一人当たり保険料　３泊コース：４０９円　４泊コース：４９３円

※スタッフ等の指示に従わないで起きた事故、お子様同士の事故（喧嘩、いじめ等を含む）、新型コロナウイルス・インフルエンザによる事故、事前申告にないアレルギー等の身体的ないし精神的疾患による事故、熱中症による事故、その他出発前・解散後の事故については一切の責任を負いかねますので、お子様への事前のご注意をお願いいたします 。また、上記のような場合、キャンプ途中でお迎えをお願いする場合もございますので、あらかじめご承知おきください。

１４．　スタッフ体制について

キャンプ期間中のプログラム運営における総括責任者、食材管理・衛生管理責任者、物資管理・運搬責任者は、主催者スタッフ及び主催者から委嘱された自然体験活動上級指導有資格者がその任にあたります。また、参加者（こども）と共に生活し、行動や心のケアをするのは、相談員（ボランティアリーダー）及び補助相談員（ボランティアジュニアリーダー）です。

●相談員（ボランティアリーダー）
主催団体の研修（安全管理・コミュニケーション等）を修了した大学生や社会人がその任にあたります。主催者はボランティアリーダーに対しても自然体験活動リーダー資格取得講座を設け、専門技能習得を奨励しています。（以上全国体験活動指導者認定委員会登録資格）
●補助相談員（ボランティアジュニアリーダー）
相談員のアシスタントとして、正規の研修を受けた高校生（相当）が活躍します。こどもたちのキャンプ生活をサポートする役割を果たします。毎年、多くの山賊キャンプのOB・OGが参加しています。

１５．　個人情報保護について（グリーンウッド個人情報保護ポリシーより）

●参加者より取得した氏名、年齢、住所等の個人情報は当センター方針に基づき管理・保管しており、お客様の同意を得た者以外の第三者に提供、開示等一切いたしません。
●今後当センターよりの各種ご案内やアンケートなどを、E-mail、郵便等によりお客様に送信もしくは送付させていただく場合がございます。また、お客様のお申し出により、これらの取扱いを中止させることができます。
●キャンプ開催中に撮影しました写真、ビデオなどにつきましては、主催者側でホームページやＳＮＳ、YouTube、パンフレットなどの広報活動や、その他自然体験教育の普及・推進のために使用する事がございます。（撮影は原則主催者のみ行います）あらかじめご了承ください。ただし、氏名・住所は掲載・公開いたしません。なお、ボランティアとして参加した学生の大学のパンフレットやＨＰに写真が掲載されることがありますので、あらかじめご了承ください。
●キャンプ期間中にテレビ、新聞などの取材がある場合がございます。その際には氏名などが掲載される場合もございます。あらかじめご了承ください。テレビ、新聞などの取材が開始された後に、放送、取材を拒否することは、放送局、新聞社等に損害を与えますので、お断りします。
●写真、ビデオなどの使用に際し、不都合のある方はあらかじめ（キャンプ開催まで）当センターまでご連絡ください。

１６．新型コロナウイルス感染予防対策について

新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、グリーンウッドでは「新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」を策定し、感染防止に努めております。下記の対応を行ってまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

１）事業実施時の感染防止策
・運営スタッフの毎日の健康チェックと行動基準の遵守
・参加者及び運営スタッフの手洗いの徹底
・施設などの消毒の実施
・参加者集合時の検温
・室内における参加者及び運営スタッフのマスク着用
・調理、配膳にかかわる際の参加者及び運営スタッフのマスク着用
・事業実施中の健康チェック・検温の実施
その他「NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター主催事業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」に準じた対応を行い、感染防止に努めます。（詳しくは別紙「NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター主催事業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」をご確認ください。）

２）開催中止の判断について
・泰阜村内あるいは近隣市町村で新型コロナウイルス感染症が発生し、近隣病院への負担が大きくなっていると考えられる場合
・団体内部で新型コロナウイルス感染症が発生し、保健所に実施が認められなかった場合。あるいはそれに伴って実施の体制が取れないと判断した場合
・長野県内に医療非常事態宣言が発出された場合は、その際に出される県からの指示によって実施か中止の判断を行います。

３）免責事項について
法人は、「NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター主催事業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」に従い、新型コロナウイルスの感染予防について対策を講じておりますが、万が一、新型コロナウイルス感染症への罹患及び濃厚接触が生じたとしても、不可抗力を理由として当法人は責任を負いかねますのでご理解の程お願いいたします。

１７．新型コロナウイルス感染予防対策に関して参加される皆様へのお願い

●開催１週間前からの検温を含む健康チェックシートの記入と提出

最終お知らせとともに「１週間の健康チェックシート」をお送りいたしますので、開催１週間前からの体調管理とシートへの記入をよろしくお願いいたします。
なお、下記に該当する場合は参加を取りやめてくださいますようお願いいたします。

- □ 37.5度以上の発熱、または平熱より+1度以上の発熱・咳・呼吸苦・喉の痛み・倦怠感・味や匂いの異常・その他体調がすぐれない場合。
- □ 本人が感染し、医師または保健所の判断により参加を止められた場合。
- □ 参加１週間前から当日までの間に、同居家族が感染者と判断された場合。また感染者と濃厚接触していた場合。
- □ キャンプ開催中（１２月２６日～１月６日）に在住する都道府県にまん延防止等重点措置、あるいは緊急事態宣言が発出されている場合。または発出される予定の場合。

●キャンプ当日朝、抗原検査キット（厚労省承認済）にて検査を実施、検査結果を集合場所にて提出

「研究用」ではなく、「体外診断用医薬品」と表示されている厚生労働省の承認を受けた「新型コロナウイルスの医療用抗原検査キット」を各自で準備していただき、検査の上結果をご提出ください。検査結果が陽性の場合はご参加できません。
※「体外診断用医薬品」と表示されている抗原検査キットは、薬剤師のいる薬局にて販売されています。
※薬局によっては取り扱いが無い、数に限りがある場合もございますので、お早めにご準備ください。またどうしても入手できない場合はご相談ください。

●キャンプ実施中のお迎えについて

以下の場合には、現地へのお迎えをお願いいたします。なお、その際の参加費につきましては返金致しかねますので、その旨ご承知おきください。

- □ キャンプ参加中に参加者本人が体調不良となった場合
- □ キャンプ参加中に参加者本人が濃厚接触者となった場合
- □ キャンプ参加中にご家族がコロナ陽性判定を受け、キャンプ参加者が濃厚接触者となった場合
- □ キャンプ開催中に新型コロナウイルスの集団感染が発生し、キャンプが途中で中止となった場合

１８．その他

●持ち物につきましては持ち物一覧表をご参照ください。参加承諾書にも同封しますのでご覧ください。
●持ち物の紛失、破損（汚れを含む）についての責任は負いかねますことを予めご承知おきください。
●お電話の受付時間は午前１０時から午後７時までです。（土・日・祝日除）FAX、E-mailについては、随時受付を行っております。ただし、営業時間外のお問い合わせ等についての返信は翌営業日以降となりますので、予めご了承ください。
●その他詳細事項につきましては、参加承諾書発送時、最終お知らせ発送時にお知らせいたします。
●募集要項を含めパンフレットまたはHP等すべてをご覧いただいた上でお申し込みください。

***** 持ち物一覧表 *****

＊かならず自分で荷物を用意してかばんにつめてね！
＊どんな小さいものにもかならず名前を書いておいてね！
★の持ち物はナップザックに入れてきてね！

■小さめのリュック（ナップザック）
大きいリュックとは別に、ハイキングやバスで使うのに必要だよ。ナップザックでもいいよ。

■米１kg（７合）
キャンプ中にみんなが食べる分だよ。
連続参加する人も１kgでいいよ。

■雨がっぱ（あまがっぱ）
山の天気は分からない！いつ雨が降ってもいいように持ってきてね！上下に分かれているものがおすすめだよ！

■名　　札（なふだ）
みんなの名前を早く覚えたいよね！ふだん呼ばれている・呼ばれたいニックネームを書いてきてね。集合場所からつけてきてね。

■マスク（ますく）
バスの中や屋内ではマスクをつけてもらうので、不織布のマスクを日数分持ってきてね。予備もあるといいよ！

■防寒着（ぼうかんぎ）
寒さと風を防げるようなジャンパーやコートを持ってきてね。

■下　　着（したぎ）
泊数分あったほうがいいよ！

■長ぐつ（ながぐつ）
山の中に入ったり、雪が降ったりしたときなどにあると便利だよ！

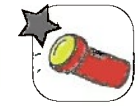
■軍　　手（ぐんて）
火をおこすときに火傷しないように軍手は欲しいよね。化繊のものは溶けて、火傷してしまうので必ず純綿の軍手をもってきてね。

■ビニール袋（びにーるぶくろ）
汚れ物を入れたり、ぬれたものを入れたりするのに使えるね。

■筆記用具（ひっきようぐ）
キャンプでできた友達と住所交換したり、絵を描いたりするよ。

■水　　筒（すいとう）
行きのバスで飲むお茶を入れてきてね。
キャンプ場で飲むお茶は用意してあるよ。
500ｍｌのペットボトルでもいいよ！

■食　　器（しょっき）
消毒、やけど、けがの関係上プラスチック製のものがいいよ。お皿やおわん（ご飯・汁物・おかずが基本の食事だよ）あとはコップ・おはし・スプーンでＯＫ！



■懐中電灯（かいちゅうでんとう）
夜の行動には必要だよね。替えの電池があるといいかもね。

■保険証のコピー＆１週間の健康チェックシート（ほけんしょうのこぴーといっしゅうかんのけんこうちぇっくしーと）
保険証は万が一けがをした時病院へ行くのに必要だよ。健康チェックシートには１週間前からの体温や体調を記録してきてね。受付時に集めるよ。
※保険証のコピーと健康チェックシートは１枚の同じ用紙です。

■体温計（たいおんけい）
キャンプ中、体温を測るときに使うよ。

■長そで・長ズボン（ながそで・ながずぼん）
セーター、フリースなどの中間着になる暖かいものもあるといいよね。

■靴（くつ）
火を使うときやハイキングには必ず必要だよ。

■帽　　子（ぼうし）
寒さから耳を保護できるような暖かいものがあるといいよ。

■寝　　袋（ねぶくろ）
これは絶対必要！スポーツ用品店やホームセンターでも売っているよ！

■洗面用具（せんめんようぐ）
タオル・はみがきセット・バスタオルなどいつも家で使っているものだよ。

<<　必要ならもってきてね！　>>

■常備薬（いつも飲んだり、塗ったりするお薬がある人はかならず持ってきてね。）
■その他（ハンカチ・ティッシュなど、ないと困るものは持ってきてね。）

<<　これは絶対もってきちゃだめだよ！　>>

❑おかし・ジュース（これは準備しておくから心配しなくていいよ。）
❑おもちゃ（テレビゲームなどのおもちゃはお家へ帰ってからやってね。）
❑カメラ（カメラより目や心に風景や想い出をきざんでいってほしいんだ。）
❑余分な衣類（着ない服は荷物が重くなるだけ。自分でリュックを背負えるだけの量にしてね。）
❑現　　金（なくしたりすると大変だから持ってこないでね。）
❑宿　　題（キャンプへ来る前に終わらせるかキャンプが終わってからやってね。）
❑時　　計（時間にとらわれないキャンプがしたいのでもってこないでね。）
❑携帯電話（キャンプでは使わないからもってこないでね。）
❑親の期待

●荷物を入れる大きなリュックについて：自分で運べるサイズの大きさと荷物の量ならどんなものでもＯＫですが、肩に背負えるリュックがおすすめです。
●洗濯について：連続参加の人はキャンプの途中で洗濯の時間をとります。（洗剤や洗濯バサミは洗濯場にあります。）
●その他何か質問があればＴＥＬ・ＦＡＸ・Ｅ－mailにて受け付けます。お気軽にどうぞ！（受付時間午前１０時～午後７時・土日祝日除く）
●万が一持ってきてはいけないものを持ってきた場合、キャンプの趣旨を鑑み、期間中、主催者で預からせていただくことがあります。
また、なくしてしまった場合には、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ・お申し込み・資料請求先

〒３９９－１８０１　長野県下伊那郡泰阜村６３４２－２
ＮＰＯグリーンウッド「山賊キャンプ係」

ＴＥＬ:０２６０（２５）２８６１
ＦＡＸ:０２６０（２５）２８５０

受付時間　ＡＭ１０：００～ＰＭ７：００（除土･日･祝）
ＦＡＸ・E-mail は２４時間受付が可能です。
番号等お間違えのないようお願いいたします。

ＵＲＬ：https://www.greenwood.or.jp
ホームページからの申し込みも可能です。

E-mail ：sanzoku@greenwood.or.jp
資料請求、お問い合わせが可能です。

ＮＰＯ法人グリーンウッド自然体験教育センター主催事業
「２０２２冬の信州こども山賊キャンプ」

発行日：２０２２年１０月１５日
発行者：ＮＰＯ法人グリーンウッド自然体験教育センター
発行責任者：辻　英之
編集担当者：高島　愛都